

実践6 音楽

題材名：クラスの思いをのせて歌おう（第3学年）

○ 教科の目標（2）及び（3）

思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
(2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。	(3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

○ 題材の目標



思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
(2) テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する。	(3) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組むとともに、豊かな情操を培う。

○ 題材の評価規準



思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図を持っている。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。

◎ キャリア教育の視点を踏まえた授業改善

今回の題材となる「合唱」は、クラス全員での関わり合いが必要になる。多くの中学校では、特別活動の時間等も活用しながら、学校全体取組として合唱コンクールを行っている。そこで、「未来シート」では、「かかわる力」から1つを選択させ、残りは自由選択とした。また、「題材振り返りシート」も合わせて活用し、「クラスの想いをのせて表現し歌うためには？」という問いに対する答えを考える。毎時間の取り組む内容やその時間に必要な視点を明確にすることで、話し合いの場面での視点や振り返りが焦点化され、その中で自己の成長が見えるのではないかと考えた。

○ 指導と評価の計画（8時間）

時	学習内容と本時の発問（□）	学習を支える教師の働きかけ	評価
1	全体の印象をつかむ □曲との出会いを大切に、私やみんなはどんな曲想を感じ取ったかな？	・旋律、歌詞、テクスチャ、強弱、構成に着目して聞かせる。夏休みの新聞もつかう。	
2, 3	正確な音程とリズムを捉える。 □音程とリズムを正確にするには？	・全体の動きの中で、自分のパートの動きに着目させ他のパートとの関わりを意識させる。	
4	曲想と音楽の構造を考えた表現の工夫① □強弱記号を表現するためには？	・強弱記号に着目させ、その意味を考えさせる。	
5	曲想と音楽の構造を考えた表現の工夫② □声部の役割や曲の構成はどんな作りになってどう表現したらいい？	・テクスチャ、構成に着目させ、音楽の構造と表現の関係に気付かせる。	知
6	歌詞の内容を表現するための技能 □言葉を美しく伝えるためにはどうしたらいい？	・発声、言葉の発音と歌詞の内容とを関わらせて表現させる。	思判表
7	音楽の構造と歌詞の内容とを関わらせた表現 □作詞者の思いとは？場面合った表現とは？	・音楽の構造と歌詞の内容との関わりに着目させ、それぞれの場面をどう表現できるか生徒の考えを引き出す。	思判表 技
8	全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う □クラスの想いをのせて表現し歌うためには？	・これまでの学習を踏まえ、どんな創意工夫ができるか引き出す。	思判表 態

○ 題材振り返りシート

題材名「 」 曲名「 」 () 年 () 組 () 番 氏名 ()				
題材のゴール：(クラスの思いをのせて表現し歌うためには？)				
Q1. 合唱は好きですか？右の番号を選んで⇒() ①とても好き ②まあまあ好き ③あまり好きじゃない ④好きじゃない				
Q2. Q1の理由は何ですか？ ⇒				
Q3. 合唱で大切なことは何だと思いますか？ ⇒				
Q4. 「クラスの思いをのせて表現し歌うには」何が必要だと思いますか？⇒				
本時の問い（MQ）に対する気持ちや考えを3つ選び○をつけ、その3つを選んだ理由を右に記入しましょう				
月 日	曲との出会いを大切に、どんな曲想を感じ取ったかな？			⇐曲想にふさわしい言葉を3つ選び、その理由を記入しよう
	きれいな感じ	暗い	楽しい	
	感動的		生き生きしてる	
	優しい		明るい	
	悲しい	温かい	重々しい	
	鮮やか	軽やか	厳しさ	
月 日	音程とリズムを正確にするには？			⇐今日の授業で大事だと感じたことを3つ選び、その理由を記入しよう
	周りに合わせる	楽譜をよく見る	何回も練習する	
	拍を意識する		伴奏をよく聞く	
	音の上下を覚える	集中力	みんなで一緒に歌う	
月 日	強弱記号を表現するには？			⇐今日の授業で大事だと感じたことを3つ選び、その理由を記入しよう
	楽譜を見ながら歌う	声の表情を変える	歌詞の意味と繋げる	
	強弱の意味を考える		何回も練習して覚える	
	みんなで合わせる	曲の場面を考える	伴奏をよく聞く	

○ 本時の計画

1 本時のねらい ○全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う	
2 本時の評価規準（評価場面と方法） よりよい表現をするために、その方法を考え、実際に歌って確認する。また、ワークシートに記載しようとしている。	
3 本時の展開 ①導 入・・・ 前時までの振り返り。 学習を振り返り、確認しながら歌う。 ②めあて・・・クラスの思いをのせて表現し歌うには？ ③展 開・・・ワークシートを使い、クラス全体で表現の工夫について考える。 パートリーダーを中心に改善点を話し合いながらよりよい表現を目指す。 ④まとめ・・・めあてに対するまとめを行う。 →場面ごとの表現や歌詞の内容にふさわしい発音や発声などを考えるだけでなく、他者と合わせることで生まれる統一感も意識して歌う。 ⑤振り返り・・・振り返りシートの視点で、本日の授業で考えたことを記載させる。 →これまでの学習を振り返り、よりよい表現をするために必要なことは何だろう。	 

授業中の観察や題材振り返りシートとワークシートの記述から、よりよい表現を目指そうとしているかについて評価する。

評価	評価の視点
「おおむね満足できる」状況	これまでの学習を生かして、よりよい表現につなげようとしている。
「十分満足できる」状況	これまでの学習を振り返り、明確な視点をもってよりよい表現にするための手立てを考えようとしている。

第8時のワークシートの記述

○クラスの想いをのせて表現し歌うためには何が必要かな？ 「あ、くりそ、と」と「それでも悲しいのか〜」のところにしっかり伝えたい。 遠く声一本でパートごとの声の役割が伝わるように周りの声と聞かせる必要がある。 この曲の歌詞で、みんなが一番大切にしたい言葉って何だろう？ 「前のあ、くりそ、と」と「サビの「それでも〜」の部分」をきくと伝えたかったところ。 みんなが歌うことで、聴いている人にどんなことを思ってもらいたいかな？ 歌詞にあるように一人じゃない、ということ。	○クラスの想いをのせて表現し歌うためには何が必要かな？ 皆が周りの声を聞いて感情を込める。 言葉一つ一つの意味を伝えようとする。 この曲の歌詞で、みんなが一番大切にしたい言葉って何だろう？ 僕らは一人じゃない、誰も一人じゃない。 みんなが歌うことで、聴いている人にどんなことを思ってもらいたいかな？ 聞いている人に勇気をあたえたい 悲しんでいる人が元気になるように。
○クラスの想いをのせて表現し歌うためには何が必要かな？ （ほらね）語りかけて、同情させるように（してもらえように）気持ち。 僕らは一人じゃない、さ、とね 誰も一人じゃない。 この曲の歌詞で、みんなが一番大切にしたい言葉って何だろう？ 「ほらね」と「一人じゃない」。 みんなが歌うことで、聴いている人にどんなことを思ってもらいたいかな？ 前向きに、みんなが力を思えるように 自分も 団結してる感、もっとやる。	○クラスの想いをのせて表現し歌うためには何が必要かな？ 正確なリズム、音程、強弱で歌う必要がある。言葉一つをとっても大切に、心を一つにしてやる。 この曲の歌詞で、みんなが一番大切にしたい言葉って何だろう？ ほらね、僕らはひとりじゃない。さ、とね 誰もひとりじゃない。 みんなが歌うことで、聴いている人にどんなことを思ってもらいたいかな？ 仲間外れ、孤独なんてないよと言う事を思ってもらいたい。

○「主体的に学習に取り組む態度」の評価の進め方

上記の指導と評価の計画では、第8時にのみ「主体的に学習に取り組む態度」の評価場面として示している。『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料』の事例2を参考に、本題5材の学習活動への取組の状況について総括的に評価する。第1～8時のグループ活動などの場面における生徒の取組の状況を観察し、題材振り返りシートやワークシートの生徒の記述を補完的に扱いながら、第8時に総括的に評価する。

「おおむね満足できる」状況（B）と判断するポイント

第1時	これから取り組む合唱曲に関心を持って聴き、題材振り返りシートの視点を踏まえて曲想を捉えようとしているか。
第2,3時	正しい音程とリズムを身に付けるために、パートでの話し合いの中で課題を見つけ解決しようとしているか。
第4時	楽譜の強弱記号を音の大きさだけではなく、いろいろな視点で考えようとしているか。
第5時	曲の構成を考えながら、自分の声部の役割を捉えようとしているか。
第6時	言葉を美しく伝えるための表現の工夫について考えようとしているか。
第7時	曲の場面に合った表現をするための工夫について考えようとしているか。
第8時	これまでの学習を生かして、よりよい表現の工夫を考えようとしているか。

題材振り返りシートの生徒の記述

時	選んだ言葉			選んだ理由
1	きれい	透き通っている	温かい	歌い方が伸びるのが多くて、その歌詞の内容で包み込んでいるようなイメージだったから。歌詞が温かい言葉を多く使っているから。
2,3	楽譜をよく見る	拍を意識する	何回も練習する	息を吸うところや強弱で気を付けなければならない部分を見つけられたから。ブレス→最後の「いつもそばにいる」の後にとっても伸ばすので、どこでブレスするかを見つけるのが課題。強弱→弱いところはできているが、声を太くして強いところを出さなければならない。ffやmfの違いがなかったので意識しながら歌いたい。歌いだしが聞こえないのでしっかり伴奏を聴いて把握する。
4	強弱の意味を考える	歌詞の意味と繋げる	何回も練習して覚える	歌詞に合わせて強弱がつけられているので、それに合わせて優しい声や力強い声などにできるように歌ってみたが、まだまだ伝わりきらないし声が裏返ったりしてしまうので何度も練習して強弱や歌いだすタイミングを覚える。しっかりとした声を最初から出すには腹筋に力を入れて息をしっかりと吐き出して歌うと結構良くなったと感じた。最後ののびしさがまだ安定して出せないのでブレスの練習をする。

5	ハーモニー	各パートの役割	強弱のイメージ	今日は喉がなぜか大きな声を出そうとするとつかかかる感じがして声量が出なかった。どうやって喉の調子を整えるのかなと思った。ハーモニーは録音して聞くと、とてもズレているし、あっていない感じがした。特に女子の声量が追い付いていないと感じた。
6	各パートの役割	母音と子音	発声	子音と母音を意識すると、強弱や歌詞のまとまりなどに意識が回らなくなってできないから、子音と母音の出し方を頭に叩き込んで覚えて、その発音を使うのかも頭に入れておくことができるかなと思った。
7	言葉の表現	曲の背景	イメージの統一	歌詞の一つ一つには意味があるし、それをどこまで汲み取れるかが表現には大事だと思った。歌詞の意味だけ分かって、なぜその理由だったのか、この曲が作られた背景などを読み取っていくことで、更にどう伝えたいかを考えながら歌えると思った。イメージが違いすぎると表現に違いが出てくる。
8	強弱の表現	場面ごとの表現	正確なリズムや音程	最初に発声をしないと歌っている時にのどにつかえて声が裏返ったりするので、当日も発声練習をする。どれか一つを意識し過ぎて他の部分を間違えると意味がないので当たり前に歌えるくらい練習する。外から聴くとどこが直した方が良いのか、誰が浮いているのかがわかったので、そこを一つ一つ直したい。男声パートとソプラノ、アルトで声量が違うので周りを聴きながら声が小さくならないように気を付ける。

◎ 実践の効果

「未来シート」について

指定した「かかわる力」については、ほとんどの生徒が「協力する力」を選択していた。授業後には「進んで考えや気持ちを伝え合う力」も身に付いたと感じている生徒が多く、自己評価も高い。その理由として「みんなで話し合い協力したことで、進んで気持ちを伝え合うことができた。そして目標を設定してその目標を次につなげることができたから」などの記述があった。

「振り返りシート」について

題材終了後に生徒へアンケートを行った。「『考える力』や『言葉で表現する力』は、『振り返りシート』を用いた学習をすることで以前より高まりましたか？」の質問には、97%の生徒が肯定的な回答をしている。また、「自分で表現の工夫をしようとする意識は、『振り返りシート』を用いた学習をすることで以前より高まりましたか？」の質問への回答では、95%の生徒が肯定的な回答をしている。さらに振り返りシートの記述からは、表現を工夫するために前時の学習や振り返りシートの選択肢を手がかりとしている様子がうかがえた。

協力員からは、振り返りシートの利点として「見通しが持てる」、「現時点でどれくらい積み上げておかないといけないのか子供たち自身が考えることができる」、「振り返る材料」があがった。題材終了後の意見交換会では、「生徒が文章を書く欄は、もっと大きく行数ももう少し少ない方が良いかもしれない。」という改善点も挙がったが、「三つの言葉に丸をつけて選択する部分は、意識しないといけなかったことや目当てを達成するためのヒントとなり、その1時間の子供たちの助けにもなったと思う。」という肯定的な意見をいただいた。

以上のことから、今回の取組では「未来シート」と「振り返りシート」が生徒にとって有効だったと考えられる。

事後アンケートの生徒の記述より

「未来シート」について

- ・「これまでは『かふやみ』のように具体的な目標の例がなく自分が何を目指せば良いのか分からず、あやふやだった。だけど、これを用いたことでやるべき事が明確になり、それが良い結果を生んだのでとてもよかった。」
- ・「『～をがんばる』のような目標ではなく、伸ばしたい力を書いて目標にするので、よりやらなければいけないことを意識して学習に取り組めた。」

題材振り返りシートについて

- ・「自分が今回の授業でどんな活動をしたのか毎時間振り返ることができたので、1週間あいてもあんまり忘れなかった。」
- ・「前回までの自分のできた事、できなかった事、次やろうと思った事などを振り返れて、自分が今回の授業でどうするべきかがすぐにわかってスムーズに授業を受けれた。」
- ・「振り返りシートを使うことで、前回何ができたのか、何ができなくて次回どう生かしたいのかを読み自分の目標を確認することができた。授業終わりに書くことで授業中の自分を見返せた。」